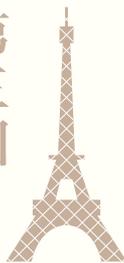


パリのほほえみ

第三回



すぎうら ゆみ
杉浦 弓

Sourire
de
Paris

AIR FRANCE パリベースCA
ドイツ車日本本社研修センター
インストラクター
健康生活舎社長 狩野万葉 黒姫和漢
薬研究所社長 狩野士の妹。

えごえ 笑声に励まされて、復帰しました。

両親の介護休暇がきっかけで5年間会社を休職していましたが、この春、乗務に復帰しました。これが、成田便で就航中の538人乗り総2階建て話題の最新鋭機A380型機です。飛行機2機分ですから座席数の多さには圧倒されます。



実は、乗務に復帰する事は迷いました。前回の続きになりますが、「入社3年目で迎えた人生最大の危機」で取得した、SCC航空保安要員資格は更新試験が毎年あり、かつ8割以上正解できないと追試です。

20年前は、体の骨の名前から空の雲の名前までフランス語でひたすら暗記したのですが、もうテストに追われる生活に戻りたくない、という強い思いがありました。「問題解決のハードルを上げているのは、自分自身じゃないですか？」後輩の一言で、先ずは本社に連絡してみようという決心がつかしました。

私：「Allo.職場に戻りたいのですが。」

仏人担当者：「お帰りなさい。後はこちらで手配しますから何も心配りませんよ。」

全くあっさりとして復帰が決まり私自身、大変驚きました。嬉しかったのは、担当者の優しい言葉の響き、まさに笑声(えごえ)です。「お帰りなさい」の一言で、私が抱えていた不安も緊張も溶けて勇気が湧いてきました。実際、その後の研修、試験も無事にクリアすることが出来たのです。

この、言葉に笑顔に乗せる「笑声」は、同僚の元JALの講師に教わりました。機内でも、お客様に笑声でアナウンスをします。「本日のご搭乗、誠にありがとうございます。」自然と頭も下がります。

復帰第1便ではパリから日本到着まで葡萄を4粒しか食べれない程、緊張しました。高度一万m、時速千kmの機内で有事が発生したら保安要員としてすべきことは何か。空間も物資も限られている機内は、緊急時の素早い対応、的確な判断が求められる特殊な職場環境です。だからこそ乗客の命を守る為に私達は訓練を受け、国家資格を保有しているのです。新人の如く仕事の手順の復習をしていると、「食事は済ませたの？」と同僚。腹が減っては戦はできぬ、変わらぬ仏人氣質に肩の力が抜けました。



B777操縦室の写真 復帰便の機長と副操縦士と共に

パリベースで働くということは、フランスまで一万キロの飛行機通勤をすることを意味します。ついこの間まで、自宅から半径1キロが生活圈でしたので環境の変化についていけない時もあります。

異国の地、目が覚めて、見慣れぬ天井眺め、「ここは何処・・・?!」と。

万葉たより

ひさかたの 雨も降らぬか 蓮葉に
溜まれる水の 玉に似たる見む

万葉集(詠人知らず)



健康生活舎フォーラムえん
えん通信 編集長
かのう まよ
狩野万葉

生前、母が蓮の花は泥の中から美しい花を咲かすと話してくれました。「生きていると、時として泥をかぶるような辛い事がある。それでも誇りに思い、凜としていなさいそれは貴方を成長させてくれる・・・」私はその時から蓮が好きになり、蓮の華のようになりたいと思つてまいりました。

表紙に使わせていただいた蓮の蕾の写真は東京都にお住まいの雪田幸子さんの作品です。彼女は今年喜寿77歳になられる素敵な女性です。73歳の時、脑梗塞で半身不随とされましたが、「これは神様からの贈り物」であるから今は感謝しかないと明るく微笑んでお話し下さいました。11歳のときお母様と満州から引き揚げていらした直後、お父様の戦死の報を受け、ご苦労されたお母様も時を同じくして他界され、幼い弟妹と戦後を生き延びて来られました。支えになつたのは、亡きお父様からの「素直にありがとう、ごめんなさいを言うように」と云う言葉だったそうです。

綺麗事ばかり話す事よりも、実践の大切さを雪田さんから教えて頂きまし。雪田さんの瞳には美しさとそして力強さがあります。

合笑